

授業科目名	社会学 B
授業科目名 (英字)	Sociology B
時間割	前期 火曜日 2校時 L-8 1 1
対象年次及び学年	1年次
担当教員	河合 史子
ナンバリングコード・水準	B2
ナンバリングコード・分野	SCL
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)	bcd
ナンバリングコード・提供部局	G
ナンバリングコード・対象学生	1
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	N
ナンバリングコード・授業形態	Lx
ナンバリングコード・単位数	2

関連授業科目	
履修推奨科目	
学習時間	講義90分×15回+自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)
授業の概要	日常生活で私たちが「当たり前」にやっているあれこれ、本当に「当たり前」なのだろうか？社会学は、「社会的に作られる私たち」という視点から人間を見つめ異文化の事例を参考にしつつ、社会学的なものの見方や分析する方法について学びます。
授業の目的	社会学の基本的な見方を身につけ、身の回りの事象について多角的な視点から解釈できるようになること。社会学の手法を習得し、活用することで現代社会
到達目標	1. 社会学の基本的な見方や概念を理解する (DPの「知識・理解」に対応) 2. 現代社会における様々な問題や身近な事象について社会学の視点をを用いながら考察・分析できるようになる (DPの「問題解決・課題探究能力」に対応) 3. 異文化や異なる時代における事例との比較を通じて、日常における「当たり前」について社会学的視点から理解し、論じることができるようになる (DPの「倫
成績評価の方法	授業内課題、ミニ発表、レポートで評価します。 ・リアクションペーパーや授業内における活動への参加:40% (到達目標 1・2・3に対応) ・グループ発表: 30% (受講人数を鑑みて受講生と相談の上詳細は決定します) (到達目標 1・2・3に対応) ・最終レポート (パワーポイント、ポスター、音声・動画作成等に変更の可能性があります) 30% (到達目標 1・2・3に対応)
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 【授業計画】 第1回: イントロダクション: 講師の紹介、授業内容・成績評価についての説明 / 社会学とは何か 第2回: 「当たり前」を問い直す: 客観的事実としての「世界」は存在するのか? 第3回: 宇宙人に私たちの習俗を説明してみる (恋愛・結婚・慣習、食文化etc) / 発表チームづくり 第4回: 質的データを分析する 第5回: チーム発表 第6回: チーム発表 第7回: チーム発表 第8回: 最終レポートの書き方 第9回: 常識はどのようにして常識になるのか (社会化、規範) 第10回: 「恋愛・結婚」にまつわる「当たり前」を見つめる 第11回: 「逸脱」と「権力」 第12回: (招待講演) イスラム文化における恋愛・結婚 第13回: (招待講演) イスラム文化におけるまじない

<p>授業計画並びに授業及び学習の方法</p>	<p>第14回：（招待講演）イスラム文化における食文化 第15回：まとめと振り返り</p> <p>【授業及び学習の方法】 この科目は対面形式で実施することを基本とします。状況によっては一部の授業を遠隔へ変更する可能性があります。</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会とは何か、自分と社会はどのような関係にあるのか考えてくる(3時間) (2) 客観的事実としての「世界」とは存在するのか？という問いについて考えてくる(3時間) (3) 日常の中で「当たり前」に思っていることややっていることをリストアップし、それらをどのように宇宙人（未知の他者）に説明できるか考えてくる（4時間） (4) 質的研究に関する文献を読み、データ収集を行う（4時間） (5) プレゼン発表の準備(4時間) (6) プレゼン発表の準備(4時間) (7) プレゼン発表の準備(4時間) (8) 最終レポートのテーマを考え、関連文献を調べて読んでくる(4時間) (9) 規範とは何かを考えてくる、日常の中でどのような規範が存在するかメモしてくる(4時間) (10) 自分の恋愛観・結婚観を整理してくる、恋愛・結婚に関する規範が日常の中でどのように表現されているか調査する（4時間） (11) テキストを読み逸脱・差別に関する理解を深める(4時間) (12) 異なる時代や現代における恋愛・結婚事情について情報収集する(4時間) (13) 異なる時代や現代におけるまじないについて情報収集する(4時間) (14) 異なる時代や現代における食習慣について情報収集する(4時間) (15) これまでの授業の内容を復習し、レポート執筆を進める(6時間)
<p>教科書・参考書等</p>	<p>授業中に適宜配布します</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>授業終了後、教室において（他の時間帯を希望の際にはメールで連絡をください）。</p>
<p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</p>	<p>授業の履修人数や進行状況・学生の反応により、カリキュラムの順番が前後したり変更になる可能性があります。また、ゲストスピーカーによる講演のタイミングが</p>
<p>参照ホームページ</p>	
<p>メールアドレス</p>	<p>kawai.ayako@kagawa-u.ac.jp</p>
<p>教員の実務経験との関連</p>	<p>鉄道会社、国連大学での勤務経験やオーストラリアの大学院への留学経験などがあります。授業においてそれらの経験と関連つけた事例を話すこともあります。</p>